



病診連携通信

第36号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
令和3年 1月 吉日

～ そのむくみ、息切れ... もしかして心不全？ ～

心不全という病名は耳にするけれど、どのような病気かはよく知らない—そういう人は多いようです。日本循環器学会では、「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」と説明しています。

今までは、なんらかの心臓病をもつ人がだんだん悪くなって心不全にいたると考えられていました。しかし最近では、高齢になったことによって心不全になるケースも多くなってきました。

心不全の主な症状はむくみや息切れです。このような症状があれば、かかりつけ医に相談したり、循環器内科のある病院を受診してください。外来診察では、その症状が心不全かどうか、心不全ならその程度はどのくらいか、ということを探血と胸部レントゲン写真、心電図で判断します。心不全の診断は専門医でも難しい場合がありますが、最近ではBNP(ビーエヌピー)と呼ばれる血液検査の値により、息切れの症状がおおよそ心不全によるものかそうでないか判定できるようになりました。心不全が疑わしい場合、心エコー検査のできる医院や病院で詳しい検査を受けます。入院してさらに調べることもあります。



こおりやま 心不全 セルフチェックシート



慢性心不全は、いろいろな心臓の病気が原因で起こります。
慢性心不全の悪化による入院は、心臓に負担がかかりすぎたことが原因です。
心臓に負担をかけないためには、日々の体調管理が大切です。体調の少しの変化に、はやく気づき、診療所や病院に相談することで、入院を避けることができます。
このノートは、郡山市の心臓の専門医、心不全認定看護師などが中心となり皆さんの自宅での安心した生活を支援する目的で作成しました。ぜひ、日々の体調管理にお役立てください。

郡山心不全地域連携を考える会

心不全であれば治療を開始します。治療の目標は、症状が軽くなり生活ができること、そして健やかに長生きできることです。多くの場合は内服薬(利尿薬や心臓を保護する薬)で治療を行います。患者さんご自身も塩分や水分の摂りすぎを控え、内服薬の飲み忘れがないよう、日常生活で気をつけていただく必要があります。

心不全が悪くなると入院して治療することもあります。入院を避けるためには、患者さんご自身が体調変化に早く気づくことが重要です。そのため当院や連携する医院では血圧手帳や心不全セルフチェックシートを活用して血圧や体重を記録していただき、血圧が高い時や体重が増えた時には早めの受診をお願いしています。

心不全はもはやありふれた疾患ですが、進行性で死にいたる病気です。その病状をしっかりと評価し、早期に適切な治療を開始することで、元気で長い生活を送ることができます。気になる症状があればお気軽に循環器内科にご相談ください。

循環器内科 : 谷川 俊了

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。